

# 努力に不可能なし!

第 11 号

2014年10月7日

学年主任 岡本 秀一

## ☆学年主任より☆

### 「きつい思いはしたけれど……」

今回は、おそらく鶴見丘高校での最後の行事となるであろう鍛錬遠足の特集をしています。一年のときは、天候の関係でロープウェイまで行って戻って来ましたが、2年・3年と頂上まで行くことができました。きつい思いはしたと思いますが、地元のしかも鶴見の生徒が鶴見岳に自力で登るといのは、何よりの思い出になると思います。灯台下暗しで、意外と高校になるまで自力登山はしたことがなかったという生徒もたくさんいました。また、同窓会長の徳田弁護士の講演会は、生徒の心に響くものがあったようです。演題ともなった「社会的弱者と歩む」というのは、私も人生を歩む上で、生きていく上で一人ひとりの生徒が感じてもらいたいことです。学力はもちろんですが、人間力もこの3年間で身に付いてきているのでしょうか……!?

学年主任 岡本 秀一

保健・人権教育講演会 (9月29日実施)

### 「社会的弱者と歩む」

講師 弁護士 徳田靖之先生

(本校同窓会長)

徳田先生はまず弁護士を目指す原動力となった少年時代の友人たちとの関わりや、自分の行動分析を静かに話して下さいました。また、今までに出会った若い世代の方々の言葉や心情を通し、「社会的弱者と共に歩む」とはどういうことか、私たちは社会の中で何を感じ考え、どのように行動すべきか、多くのヒントを下さいました。講演後の感想をきくと、特に医療看護系の道に進もうと考えている生徒に、より大きな影響があったようです。今までの自分を見つめ直し、「助ける」を越えた、「寄り添い」「共に考える」関係を築いていく事の大切さに気づき、生き方をさらに深く考えるきっかけとなりました。



穏やかに語りかける徳田先生



講演会は「小論文は対比と類比で書く」という前提の確認から始まりました。特に対比については、例えば同じ「水」についての対比でも、化学的には酸素と水素、生物学的には淡水と海水、というように、学問的視点によって対比の仕方が違うこと等をわかりやすく説明して下さいました。

- ✓どの様なタイプの小論文でも、具体例、自分の経験を入れることを忘れないように。
- ✓対比の枠を作った途端に小論文のスイッチがONになるよう日頃からアンテナを張る。

3年生対象小論文講演会 (9月17日実施)

### 「小論文はどう書けばいいの?」

講師 山口 真先生

(小論文専門塾 塾長)

☆今後の日程☆ 各行事の詳細や変更はHR等で説明します。毎月の行事予定表も配付しています。

10月	10日(金)	前期終了日	10月	15日(水)	後期開始日
	11日(土)	鶴高オープンキャンパス		18・19日	(土)・(日)進研記述模試
	12日(日)	全統記述模試・第2回英検1次		25日(土)	各大学オープン模試
	14日(火)	振替休業(10/11分)	※各種受験手続きは、確実に、早めに。		





# ☀-最後の鍛錬遠足-☀



当日 7 時過ぎの鶴見岳。台風接近中で、前日は大変心配しましたね。



集合場所の南立石公園には、元気な 3 年生が続々と集合中です。



「決して命を危険にさらさぬよう…」武生先生の注意を熱心に傾聴。



徐々に気温も上がってきた中、1 年 1 組に続いて、3 年 1 組出発！



木漏れ日の中、HR 行動で登山中。まだまだ余裕の表情ですね。



公園から高原駅までの約 5 キロの行程をトップでゴールした二人。



高原駅手前の登山道にて。今日の気持ちをポーズにしてみました。



平田先生から最終確認。山頂までは班行動。ハチや崖などに注意。



初秋の景色の中。疲れたけれどやはり山頂の風は心地よい…。



祝、登頂。鶴見岳標高 1375M。今、どんな思いを抱いているのかな？



南立石公園で各班の報告を受ける岡本学年主任。「全員元気か？」



無事に帰着して笑顔で岡本学年主任と歓談中。「帰って勉強しろよ。」